

1. 件 名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（東海第二（1197））
2. 日 時：平成30年8月16日 13時30分～15時20分
3. 場 所：原子力規制庁 9階D会議室

4. 出席者

原子力規制庁：

（新基準適合性審査チーム）

関根技術研究調査官、矢野審査チーム員

事業者：

日本原子力発電株式会社：発電管理室 副室長 他5名

東北電力株式会社：原子力部（原子力設備） 担当

東京電力ホールディングス株式会社：原子力設備管理部 課長 他1名

中部電力株式会社：原子力部 設備設計グループ 主任

北陸電力株式会社：志賀原子力発電所 保守部 機械保守課 主任

中国電力株式会社：電源事業本部（原子力設備） 担当

電源開発株式会社：原子力技術部 設備技術室 担当

5. 要旨

（1）日本原子力発電から、本日の提出資料に基づき、東海第二発電所の工事計画認可申請に係る原子炉格納施設の設計条件に関する説明書についての補足説明資料について説明があった。

（2）原子力規制庁から主に以下の点について指摘を行った。

【原子炉格納施設の設計条件に関する説明書】

- ペDESTAL排水系に設置する安全弁の吹き出し量の考え方について、想定する蒸気発生量の詳細を整理して提示すること。

（3）日本原子力発電から、本日の指摘等について了解した旨の回答があった。

6. その他

提出資料：

- ・ペDESTAL排水系に設置する安全弁について
- ・V-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書
- ・東海第二発電所 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書に係る補足説明資料（コリウムシールドの設計）